

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	L41206	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	6	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120609	クラス名	濱永研究室
担当教員名	濱永 康仁		
履修上の注意、履修条件	卒業研究に着手するための取得単位などを満たしている必要があります。卒業研究のテーマについて、関心を持ち、積極的に取り組むことが大切です。そのようなテーマを受講学生と担当教員が、相談しながら選びます。正当な理由なく講義を欠席した場合には単位を認めません。講義には万全の準備をして臨んでください。		
教科書	無し		
参考文献及び指定図書	適宜配布します。		
関連科目	建築学科の専門科目		

○基本情報	
授業の目的	研究とは、社会問題に気付き、その解決方法を模索し、提案することにあります。解決方法を提案するために様々な実験を行い、データを集め、分析します。その結果をまとめ、論文とし、その成果を発表します。本講義では、建築学科のディプロマポリシーにおいて表記されている、建築に関わる技術者として必要な基礎知識のうち、建築学、土木工学に通じる研究に関する基礎的な知識を修得することを目的としています。
授業の概要	建築に関する未解決の問題からテーマを選び、文献調査、解析、実験などを通じて研究します。1年間の研究をまとめて、卒業論文を作成します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	研究テーマに関心をもち、問題を解決する熱意をもつ。		10点	15点
【知識・理解】	テーマに関する技術の現状を、文献から読み取る力をつける。		10点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】	自らの考えを適用して問題の解決を試みた結果を、発表する。		10点	15点
【思考・判断・創造】	文献調査、問題を解決する試み、結果の考察と結論などを順序立てて論文にまとめる。		10点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
文献調査、実験、資料作成、すべてにおいて提出物および発表を行います。課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
大学4年間の集大成となる科目です。1年間の計画をたて、無理なく無駄なく最大限の努力をしましょう。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 濱永 康仁	授業コード	L120609
学修内容				
1. 建築材料に関する技術の現状の説明 建築材料に関する未解決の問題からテーマを選び、文献調査、解析、実験などを通じて研究します。1年間の研究をまとめて、卒業論文を作成します。				
予習	講義資料			約2時間
復習	配布資料			約2時間
2. 卒業研究のテーマについて 卒業研究のテーマを決定します。				
予習	講義資料			約2時間
復習	配布資料			約2時間
3. 文献調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。				
予習	文献調査			約3時間
復習	発表内容の修正			約1時間
4. 文献調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。 学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。				
予習	文献調査			約3時間
復習	発表内容の修正			約1時間
5. 実験計画 1年間を通して行う実験の計画を立案し、発表します。 その内容についてゼミ生全員で討議し、実施可能かどうか検討します。				
予習	発表資料作成			約3時間
復習	発表内容の修正			約1時間
6. 実験計画 1年間を通して行う実験の計画を立案し、発表します。 その内容についてゼミ生全員で討議し、卒業論文作成に十分な内容かどうか検討します。				
予習	発表資料作成			約3時間
復習	発表内容の修正			約1時間
7. 実験 計画した実験を行います。				
予習	実験準備			約2時間
復習	実験まとめ			約2時間
8. 実験 計画した実験を行います。				
予習	実験準備			約2時間
復習	実験まとめ			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 濱永 康仁	授業コード	L120609
学修内容				
9. 実験 選んだ研究方法により、問題の解決を試みます。随時担当教員と、研究内容について、打合せをします。				
予習	実験準備			約2時間
復習	実験まとめ			約2時間
10. データ整理 行った実験のデータをまとめ、整理し、分析を行います。 その結果について検討し、必要であれば追加実験を行います。				
予習	データ整理			約2時間
復習	データ修正			約2時間
11. データ整理 行った実験のデータをまとめ、整理し、分析を行います。 その結果について検討し、必要であれば追加実験を行います。				
予習	データ整理			約2時間
復習	データ修正			約2時間
12. 論文作成 実施した研究の全体的なまとめである卒業論文の草稿を作成します。				
予習	論文作成			約2時間
復習	論文修正			約2時間
13. 論文作成 研究の目標について、どのように考察し、どのような結論を導くのか、論文を十分に練り上げることが大切です。必要に応じて担当教員がサポートします。				
予習	論文作成			約2時間
復習	論文修正			約2時間
14. 論文作成 卒業論文を完成させます。研究の目標について、どのような成果が得られたかを結論に明記することが大切です。				
予習	論文作成			約2時間
復習	論文修正			約2時間
15. 発表練習 卒業論文を発表するための資料を作成し、発表練習を行います。				
予習	発表資料作成			約1時間
復習	発表内容の修正			
16. 研究発表 卒業研究の成果を、卒業論文を使って、発表します。期末テストは行いません。				
予習				
復習				